

平成29年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	8. 井野長割遺跡保存整備事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	2. 文化財保護費	担当所属	文化課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	第4章	明日へつながるまちづくり	5年間計画額	29,375
臨時	単独	計画	0	0	1,492		基本施策5	歴史・文化資産の保全・活用	平成28年度	3,204
									平成29年度	3,776
							施策2	歴史文化資産を保全・活用します	平成30年度	12,263
									平成31年度	7,956
		平成32年度	2,176							

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		2,241

財源内訳								一般財源
本年度当初要求額								0
本年度当初査定額								2,241

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・ 樹木伐採、除草等整備 ・ 学校・公民館等講師派遣 ・ 部分公開 ・ 見学会実施 ・ 普及事業用教材製作 ・ 表示等設置</p>	<p>(事業の目的) ・ 国指定史跡井野長割遺跡の普及活用と維持管理を行います。 ・ 整備検討委員会で史跡の保存整備について検討します。</p>	<p>(事業の効果) ・ 国指定史跡が、適正に保存されます。 ・ 国民共有の財産である史跡の適正な管理・整備が実施されます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) ・ 史跡指定後10年が経過し、市民への整備公開を進める必要がある。 ・ 隣接する住宅地及び国道へ樹木が伸びており、安全上及び衛生上の配慮が必要である。</p>	<p>(前年度からの見直し点) ・ 史跡の周知を図るため、案内表示を行う。 ・ 史跡の普及活用の一環として、体験学習用品を備えるほか、史跡の周知を積極的に行う。</p>	<p>(見直しについての特記事項) ・ 部分公開に向け、史跡出入口側の案内表示を行う。 ・ 普及活用として、伐採体験等のイベントを継続して行う。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
08	138	135	3
11	44	208	△164
13	1,691	1,757	△66
15	368	0	368

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
								差引一般財源	0	2,241	0